

「うちどく」通信～2020.10〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



1年 M・M 『十二支のかぞえうた』 E さ 聞いた人:お母さんと妹

M:わたしは、ちまきっていうのがわからなかったからままだにききました。そのあとままだにしゃしんをみせてもらいました。わたしはへびどしです。いもうとはひつじといぬです。

お母さん:日付、十二支、時間が出てきて一緒に考えながら読みすすめました。季節のたべものがでてきて、ちまきってなあに?とみことがきいてきたので一緒に調べました。今度一緒に食べようと思います。

1年 S・T 『かばんうりのがらご』 E し 聞いた人:T

T:ライオンのめがおもしろかったです。

お母さん:いろいろなかばんがでてきて楽しいお話でした。1ページ1ページよく見てみると細かい仕掛けがあり読むたびに発見できそうです。絵をよく見ている子どもの方がたくさん気づきそうです。

2年 K・M 『ちいさいおうち』 E は 聞いた人:お母さん

M:さいしょはいなかにならなげたのに、どんどん町になっていったから、ちいさいおうちがいやになつたけど、ちいさいおうちをたてた人のまごのまごのまごが、ちいさいおうちをみつけたのでまたいなかにもどしてくれたいいお話でした。

お母さん:ちいさいおうちがたっていたのはいなかでした。春はりんごの花がさき、秋にはりんごつみがり、冬にはゆきがふり、1年中楽しそうでした。そんな景色をみてみたいと思いました。

2年 T・K 『ぼくだけのこと』 E も 聞いた人:お母さん

K:ぼくだけのことをたくさんみつけるといいなあと思いました。

お母さん:ぼくだけのことをたくさん見つけていられる事は素晴らしい事だと思いました。苦手な事も、楽しい事もたくさんあって、自分だけのことを子供と見つけあってみたいと思いました。

3年 H・R 『アランの歯はでっかいぞこわーいぞ』 E し 聞いた人:お母さん

R:アランのばかがすごかったです。

お母さん:アランのりっぱ歯がまさかの入れ歯とは思いませんでした。他の動物をこわがらせてばかりだったアランが歯をなくした事で他の動物達と仲良くなれて良かったです。

3年 H・S 『いのちのまつり』 E く 聞いた人:お母さん

S:お墓まいりやしんせきの人が集まってお弁当を広げておしゃべりをしたり、ようきにおどったり楽しそうだなと思いました。

お母さん:ぼくに命をくれた人、数え切れない先祖さまが誰ひとり欠けても生まれてこなかった。色々考えるとうちゃんのように不思議な気持ちになりました。

4年 M・H 『ごんぎつね』 E に 聞いた人:H

H:ごんがまつたけやくりを持って行ってあげたけど、ひょうじゅうからうたれたのでかわいそうでした。

お母さん:いたずらをしてしまったゴンがつぐないに松茸や栗を持って行きました。それがわかる前に殺されてしまったのでかわいそうでした。

【10/9 確認】



4年 H・N 『一つの花』 E い 聞いた人:お母さん

N:戦争でゆみ子が「一つだけちょうだい」という言葉をおぼえたのがかわいかったです。でも、お父さんが戦争に行ってしまうときかわいそうでした。戦争の事がよくわかる本でした。

お母さん:毎日音読で聞いていますが、戦争を知らない私達にとっては想像できない物語だと思います。子供にとっても戦争について考えられる良い本だと思います。

5年 K・R 『世界で一番やかましい音』 教科書っている本 聞いた人:お父さん

R:世界で一番ってことはものすごくうるさい音だから、毎日こまかくがやぶれるだろうな～と思いました。お父さん:「王子の誕生を祝う」という目的が、いつのまにか「世界で一番大きい音を聞ける」という別の目的にすり替わっている事に、その瞬間になるまで気づかない。そこに人の持つ自己中心的な考えが現れている。また、皮肉にもそれにより王子が生まれて初めて小さな音を拾う事ができる。きれいに締めくくられている物語だと思います。

5年 M・R 『ヘンゼルとグレーテル』 E く 聞いた人:お父さん

R:子どもたちが山にすてられていたからかわいそうと思いました。おかしな家はありが来そうだから住みたくないです。

お父さん:子どもの頃に読んだ感想はお菓子の家が印象的でしたが、本当はヨーロッパの飢餓時代の残酷な童話なので、親になって読んで見ると全く違う感想で複雑な思いです。ただ子供には物語に出てくる兄妹の様にどんなに厳しい状態になっても助け合いあきらめず、自分の考えで行動する自立心を徐々に身に付けて欲しいものです。

6年 M・K 『ぐりとぐらのえんそく』 E な 聞いた人:お母さん

K:ぐりとぐらが楽しく遠足しているところがおもしろかったです。くまのチョッキの毛糸がほどけていたのもおもしろかったです。最後にくまと一緒にぐりとぐらがお弁当を食べたところが楽しそうでいいなあと思いました。

お母さん:香乃にとっても私にとってもなつかしい本でした。時間の使い方、楽しみの見つけ方はそれぞれですが、どうせ同じ時間過ごすなら楽しくすごしたいと改めて思いました。

6年 T・S 『5分後に意外な結末(幸せのグラフ)』 おうちの本 聞いた人:お母さん

S:ある男の人の未来が良いか悪いかわかる機械を発明して「おー!!」と思ったけど、その人の人生は機械を作り終わった後がずっと右肩下がりであったので以外でした。

お母さん:人間は素晴らしいと思う。作りたいものを時間をかけてつくりあげられるのだから。